

## 【27】空手道競技

1. 期 日 令和5年7月9日(日) 午前10時00分より
2. 会 場 鈴鹿市武道館  
〒510-0231 鈴鹿市江島台2丁目6-1 TEL: 059-388-0622
3. 競技会名 国民体育大会第44回東海ブロック大会空手道競技会  
兼 特別国民体育大会 東海地区予選会

### 4. 競技種目別及び参加人数

#### (1) 東海地区予選会

種目	本大会 出場県数	予選会 参加県	選手	予選会 人数	県 監督
成年男子形	2	4	1	12	各1
成年女子形	2	4	1		
少年男子形	2	4	1		
少年女子形	4	予選会なし			

#### (2) 出場枠の事由

- ① 国体出場県の自由枠1は、成男→成女→少男→**少女**の輪番制とする。
- ② 全空連会員登録上位5ブロック特別枠は、少男→**少女**の輪番制とする。
- ③ 2023年度は少年女子が自由枠とブロック特別枠です。  
よって少年女子形の本大会出場枠はフルエントリーの4名とする。

### 5. 競技上の規定及び運用方法

競技は、(公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠して、得点方式で行う。

#### (1) 予選ラウンド

(公財)全日本空手道連盟が定めた第1指定形もしくは第2指定形から1つを演武し、高得点の者2名が決勝ラウンドに進出する。なお予選ラウンドの3番目の得点者が第三位となる。

#### (2) 決勝ラウンド

得意形から選択することとし、予選ラウンドでの得点は無視される。

#### (3) 各ラウンド同点の場合

下記の事項を適用し、勝敗を決める。

ア) 技術面の高い方の選手

イ) 競技面の高い方の選手

ウ) 2名とも同得点の場合、新たな形で演武を行う。

この場合、一度演武した形は繰り返し演武することはできない。

#### (4) 本大会形種目の出場県数

成年男子：2県、成年女子：2県、少年男子：2県、少年女子：4県に本大会の出場権を与える。

### 6. 参加資格

#### (1) 会員登録

選手及び監督は(公財)全日本空手道連盟の会員登録者でなければならない。

#### (2) 健康状態

各県空手道連盟より選出された者で健康上支障がないと診断された者。

但し、東海地区予選会の選手・監督は特別国民体育大会実施要項総則5及び同空手道競

技実施要項6に定めるものとする。

7. 表 彰 大会総則7に定めにより表彰する。

## 8. 申込方法

大会総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通じて、申込期限までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込締切後の監督・選手の変更については、疾病、傷害等のやむを得ない理由がある場合のみ認めるものとし、診断書を添付のうえ、所定の手続きを行うこととし、その取扱いについては次のとおりとする。

ア) 提出期限 7月10日（日）監督会議の開始前まで

イ) 提出先 (次の①と②の双方に提出)

① 〒510-0261 鈴鹿市御菌町1669番地 (公財)三重県スポーツ協会内  
国民体育大会第44回東海ブロック大会三重県実行委員会  
TEL: 059-372-3880 FAX: 059-372-3881

② 〒510-0064 四日市市新正2-4-9  
三重県空手道連盟 事務局 加藤 信彦  
TEL: 080-6955-8979 FAX: 059-351-3397  
メールアドレス: [nobuhiko-kato@yk.commufa.jp](mailto:nobuhiko-kato@yk.commufa.jp)

### (4) 参加料及び負担金

- ① 参加料 1名 600円
- ② 種別負担金 1種別 5,000円 (各県スポーツ協会を通じて納入)

## 9. その他

(1) 抽 選 大会事務局で厳正に行う。

(2) 日 程 7月9日（日）

開 場	9:00 ~	
受 付	10:00 ~	11:00
審判会議	11:00 ~	
監督会議	11:30 ~	
開 始 式	13:00	開始式終了後競技開始

※新型コロナウイルス感染予防のため、開会式及び閉会式は実施しない。

### (3) 服 装

- ① 選手は白色空手着を着用のこと。  
胸マークを各県で用意して、左胸に白地に黒字で所属県名を入れる。  
(規格: タテ18cm、ヨコ11cm)
- ② 監督・コーチの服装は、各県において統一のユニホームとする。  
(トラックスーツやポロシャツなど可)
- ③ 審判員は全空連規定の服装とする。

### (4) 各県空手道連盟責任者

- ① 体調不十分の選手は出場させないこと。
- ② 大会終了まで参加者の行動に注意し、事故防止に努めること。

### (5) 救護などに関して

- ① 選手は必ず「健康保険証」を持参すること。
- ② 応急処置はするが、その後は各自で責任を持つこと。
- ③ 傷害保険は各県空手道連盟で加入すること。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策は、別紙（公財）全日本空手道連盟感染防止ガイドライン（大会用）に基づいて行う。

# 東海地区空手道選手権大会

1. 期 日 令和5年7月2日(日) 午前10時00分より
2. 会 場 AGF 鈴鹿体育館(鈴鹿市立体育館)  
三重県鈴鹿市江島台1-1-1 <TEL>059-387-6006
3. 競技会名 第45回 東海地区空手道選手権大会

## 4. 競技種目及び参加人数

種別	種目	階級	1県参加数
成年男子	組手個人戦	軽量級(65kg未満)	3名
		中量級(65kg以上75kg以下)	3名
		重量級(75kg超)	3名
	形		3名
成年女子	組手個人戦		3名
	形		3名
少年男子	組手個人戦		3名
	形		3名
少年女子	組手個人戦		3名
	形		3名
	組手団体戦	(今大会は)実施しない	

- ① 成年男子の組手(個人戦)は体重別に3階級とし、各県1階級につき3名とする。
- ② 成年女子、少年男子及び少年女子の組手は、体重制限を設けない。
- ③ 組手団体戦は実施しない。

## 5. 競技上の規定及び運用方法

競技は(公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠して行う。  
赤帯・青帯及び安全具については、すべて各県で準備すること。

### (1) 組手競技

- ① 成年男子・少年男子・成年女子・少年女子の個人戦とする。
- ② トーナメント方式とする。
- ③ 安全具は以下のものを使用する。

防具	規格・指定	
	成年	少年
拳サポーター	全空連認定 (WKFは不可)	(左記 同様)
メンホー	ミズノ製 Ver. 6・7	(左記 同様)
マウスシールド	全空連認定 又は 同等の機能を有する品	(左記 同様)
セーフティカップ	(男子のみ)	(左記 同様)
ボディプロテクター	WKF 又は 全空連認定	高体連検定も可能
インステップガード・シンガード	WKF 又は 全空連認定	高体連検定も可能
チェストガード	WKF 検定 (成年女子のみ)	(不要)
マウスピース	(着用は任意)	(左記 同様)

- ④ 3位決定戦を行う。

(2) 形 競 技

競技は、(公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠し得点方式で行う。

① 予選ラウンド

各種目 2 グループに分け、(公財)全日本空手道連盟が定めた第 1 指定形から 1 つ・第 2 指定形から 1 つを合計 2 回演武する。

各グループにおいて各平均点が高得点の一位同士で決勝戦を行い、二位同士で三位決定戦を行う。

② 決勝ラウンド

得意形から選択することとし、予選ラウンドでの得点は無視される。

③ 各ラウンド同点の場合下記の事項を適用し勝敗を決める

ア) 技術面の高い方の選手

イ) 競技面の高い方の選手

ウ) 2 名とも同得点の場合、新たな形で演武を行う。

この場合、一度演武した形は繰り返し演武することはできない。

(3) 参 加 制 限 個人種目に登録された選手の交代は認めない。

6. 参 加 資 格

(1) 会員登録

選手及び監督は(公財)全日本空手道連盟の会員登録者でなければならない。

(2) 健康状態

各県空手道連盟より選出された者で健康上支障がないと診断された者。

7. 表 彰

個人戦 形・組手ともに第 4 位 (敢闘賞) まで表彰する。

総合成績 総合成績として、第 3 位まで表彰する。

8. そ の 他

(1) 抽 選 大会事務局で厳正に行う。

(2) 日 程 7 月 2 日 (日)

開 場 8 : 00 ~

受 付 8 : 00 ~ 9 : 00

審判会議 9 : 00 ~

監督会議 9 : 30 ~

開 始 式 10 : 00 開始式終了後競技開始

※新型コロナウイルス感染予防のため、開会式及び閉会式は実施しない。

(3) 服 装

① 選手は白色空手着を着用のこと。

胸マークを各県で用意して、左胸に白地に黒字で所属県名を入れる。

(規格：タテ 18cm、ヨコ 11cm)

② 監督・コーチの服装は、各県において統一のユニホームとする。

(トラックスーツやポロシャツなど可)

③ 審判員は全空連規定の服装とする。

(4) 各県空手道連盟責任者

① 体調不十分の選手は出場させないこと。

② 大会終了まで参加者の行動に注意し、事故防止に努めること。

(5) 救護などに関して

① 選手は必ず「健康保険証」を持参すること。

② 応急処置はするが、その後は各自で責任を持つこと。

③ 傷害保険は各県空手道連盟で加入すること。

④ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策は、別紙 (公財) 全日本空手道連盟感染防止ガイドライン (大会用) に基づいて行う。

以上

# 東海地区少年少女空手道選手権大会

1. 期 日 令和5年7月2日(日) 午前10時00分より
2. 会 場 AGF 鈴鹿体育館(鈴鹿市立体育館)  
鈴鹿市江島台1-1-1 <TEL>059-387-6006
3. 競技会名 第1回 東海地区少年少女空手道選手権大会(笹川杯)
4. 競技種目及び参加人数(組手個人戦のみ)

	男子		女子	
小学1年生	組手	1名	組手	1名
小学2年生		〃		〃
小学3年生		〃		〃
小学4年生		〃		〃
小学5年生		〃		〃
小学6年生		〃		〃
監督1名とコーチ1名の2名(コーチの交代は不可)				

5. 参加資格
- (1) 会員登録  
選手及び監督・コーチは(公財)全日本空手道連盟の会員登録者でなければならない。
- (2) 健康状態  
各県空手道連盟より選出された者で健康上支障がないと診断された者。

6. 競技上の規定及び運用方法
- 競技は(公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠して行う。  
赤帯・青帯及び安全具については、すべて各県で準備すること。  
(所持していない選手に対して、赤・青紐を貸与する)

- (1) 組手競技
- ① トーナメント方式とする。
- ② 競技時間は1分30秒フルタイムとする。(全少・全少選抜と同じ)
- ③ 3位決定戦を行う。
- 【判断材料】
- ④ 勝敗は、
- ・ 競技時間内に6ポイント差が生じた場合
  - ・ 競技終了時に得点の多い選手
  - ・ 同点の時は先取がある選手とする。(全少・全少選抜と同じ)
- ⑤ 安全具は以下のものを使用する。

防具	規格・指定	
	原則	付記
拳サポーター	全空連検定	赤・青リバーシブル
メンホー	ミズノ製 Ver. 6・7	
マウスシールド	全空連検定 又は 同等の機能を有する品	
セーフティカップ	(男子のみ)	小学1・2年生は任意
ボディプロテクター	全空連検定	
インステップガード・ シンガード	全空連検定	

(2) 参加選手の交代

参加申し込み選手が棄権を予定する場合、大会当日朝までに県連局長から開催県局長に連絡すれば交代を認める。

7. 式典

(1) 開会式

- ・一般選手とは別に、少年少女選手は県別に整列する。

(2) 表彰式

- ①優勝者から3位までの選手に「記念品」を授与する。  
4位まで表彰する。  
6年生男女それぞれの優勝者に「笹川カップ」を授与する。
- ②昼休み後に少年少女大会の表彰を行う。

8. その他

(1) 抽選 大会事務局で厳正に行う。

(2) 日程 7月2日(日)

開場	8:00	～	
受付	8:00	～	9:00
審判会議	9:00	～	
監督会議	9:30	～	
開始式	10:00		開始式終了後競技開始

※新型コロナウイルス感染予防のため、開会式及び閉会式は実施しない。

(3) 服装

- ① 選手は白色空手着を着用のこと。  
選手の(背中)のゼッケン番号は なし とする。  
ただし、左の腕に 「県名」のワッペンを縫い付ける
- ② 監督・コーチの服装は、各県において統一のユニホームとする。  
(トラックスーツやポロシャツなど可)
- ③ 審判員は全空連規定の服装とする。

(4) 各県空手道連盟責任者

- ① 体調不十分の選手は出場させないこと。
- ② 大会終了まで参加者の行動に注意し、事故防止に努めること。

(5) 救護などに関して

- ① 選手は必ず「健康保険証」を持参すること。
- ② 応急処置はするが、その後は各自で責任を持つこと。
- ③ 傷害保険は各県空手道連盟で加入すること。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策は、別紙(公財)全日本空手道連盟感染防止ガイドライン(大会用)に基づいて行う。

以上